

2022年10月7日
SCSK株式会社

SCSK モビリティサービス「QINeS」へブランド再定義 ～2030年「Smart City に貢献するモビリティサービスNo.1」へ～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長 最高執行責任者:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、「高品質」「高効率」な車載ソフトウェア開発を支える、AUTOSAR^{※1} 準拠のベーシックソフトウェア(BSW)を中心とした一連のソリューション「QINeS」(クインズ)を2015年より提供しています。このたび、ソリューション名としていた「QINeS」を、SCSKが提供するモビリティサービスの総称としてブランドリニューアルいたしました。In-Car 領域の知見を活かした、Out-Car 領域でのサービス開発を強みに、モビリティ事業を成長させ、2030年「Smart City に貢献するモビリティサービスNo.1」と「売上1,000億円の実現」を目指します。

※1:車載ソフトウェアの標準規格



ロゴデザインは、これまで積み重ねてきた「QINeS」の歴史を大事にしながら、さらに事業が躍進していく様をイメージしました。今後のモビリティ業界に対し、スピード感を持って支える決意を表現したデザインとしております。

1. ブランドリニューアルの狙い

2015年より提供を開始した「QINeS-BSW」は、多くの自動車メーカーおよび部品メーカーにて採用いただいております。また、SCSKでは2020年に策定した中期経営計画の基本戦略の一つである「DX事業化」の実現に向けて取り組んでおり、その「DX事業化」の4つの重点領域の一つとして、「モビリティ」を設定し、事業の創出を進めています。クルマの進化とともに、モビリティサービスにおける事業環境が加速度的に変化するなか、社会課題の解決およびお客様事業への貢献を目指したサービス開発を強化すべく、「QINeS」をSCSKが提供するモビリティサービスの総称とし、個々の製品やサービスを体系化することで、ブランド力の向上を図ります。

2. SCSKのモビリティサービス事業について

SCSKは、モビリティ関連のシステム開発において40年以上の経験と実績があります。ソフトウェアが進化をけん引する新しい概念のクルマ、SDV(Software-Defined Vehicle^{※2})時代の到来に伴い、現在、3つのモビリティ事業領域に注力しております。

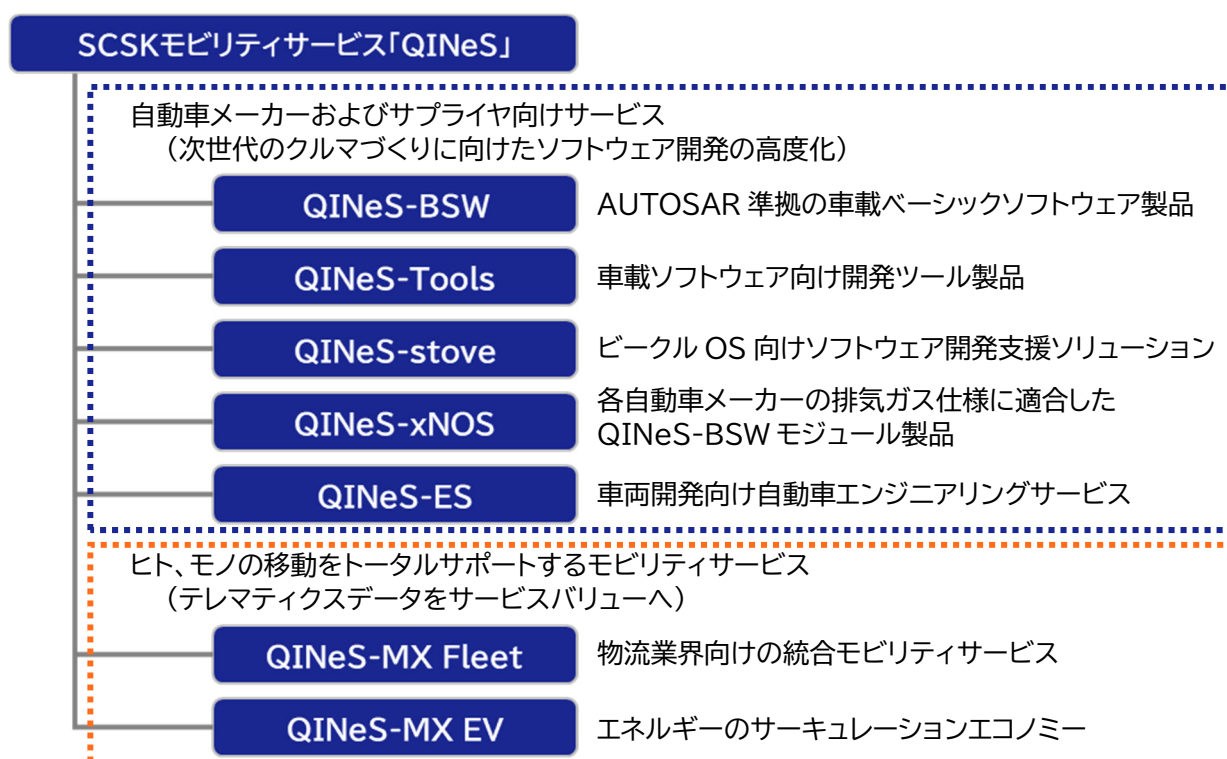
※2:自動車ソフトウェア中心の電子機器へと変化しつつある中で、主にソフトウェアによって機能が実現された自動車

- ・ソフトウェア Tier1: 超上流エンジニアリングサービスの提供およびソフトウェア製品の販売
- ・ソフトウェア開発支援: 複雑な顧客要求に対応する高度エンジニアリングサービスおよび先進機能領域への開発支援
- ・モビリティサービサー: ヒト、モノの移動とビジネスイベントを仮想空間でつなげる新しいモビリティトランスフォーメーションサービスの提供

3. SCSKモビリティサービス「QINeS」が提供する製品およびサービス

SCSKは、モビリティサービスとして、ソフトウェアTier1およびモビリティサービサー領域のサービス提供を強化しています。

■SCSKモビリティサービス「QINeS」ブランド体系図



本件に関するお問い合わせ先

【QINeS に関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

モビリティ事業グループ

モビリティシステム第一事業本部 営業部 古田

E-mail: gines-info@scsk.jp

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

企画本部 広報部 土岐

TEL:03-5166-1150

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。(出願中含む)